

「まちづくり意見はがき」の

回答を公表します 平成29年10月～平成30年3月

市政やまちづくりについて、市民の皆さんがどのような意見や要望をお持ちなのかをうかがうため、昨年4月から「まちづくり意見はがき」を始めました。今月は、平成29年10月から平成30年3月末までにいただいた「まちづくり意見はがき」等のご意見と回答内容をお知らせします。



要望

「星の降る里」のイメージを分かりやすくするため、星に関するイベントや物品を徹底させてほしい。

回答

昭和63年1月30日、環境省（当時環境庁）から「星空の街・あおぞらの街コンテスト」で「星空の街」に認定されています。澄んだ空気と周辺の光を遮断するように山々に囲まれており、星が降るように美しいことを広く知っていただく

め、「星の降る里」をキャッチフレーズとして観光振興を図っています。

イベントは、毎年8月ころに、たきさとスターウオッチングプロジェクト事務局が主催する「スターウオッチング・Greenたきさと」として星空観察会、スターライトホテルでは宿泊客や市民を対象とした「星の観測会」が行われています。

市のシンボルとしては、北大通のコミックシンボルタワーⅡ写真Ⅱ、も

とまち公園のモニュメントや外柵、マンホールや街灯、道の駅レストランの天井など市内の各所に星の降る里をイメージしたデザインを配置しています。また、「星の降る里・芦別」ロゴ入りグッズを芦別観光協会で製作・販売しており、特に口

ゴ入りポロシャツは市職員だけでなく、町内会や各種団体、商店でも利用されています。

意見

観光振興のために、旅行、イベント好きな女性の意見を取り入れてはどうか。

回答

女性限定ではありませんが、平成28年度から江別市内の4大学の学生地域定着推進広域連携プロジェクトを活用したモニターリングツアーを実施し、参加者の声を今後の観光施策の参考にさせていただいています。なお、今回いただいた女性の意見を取り入れてはどうかのご意見については、今後の参考にさせていただきます。

要望

市民健診を市立病院内で受診できるようにしてほしい。また、予約の時間を早くして、8時から8時30分の時間帯に健診を受けてから、内科受診できるようにしてほしい。

回答

市立病院では、3人の医師で内科外来と入院診療などを行っています。現在の医師数ではこれらの診療等で健診には手が回らない状況です。現在、医師確保に向けた活動を行っており、医師が増えた際には、健診業務の拡充を図りたい

と考えています。健診時間については、開院時間が8時30分となっていますので、健診の開始時間も8時30分からとしています。

要望

市立病院の血液検査結果を当日分かるようにしてほしい。

回答

血液検査の中には、院内の検査室で結果が出るものと、院外の検査センターに依頼するものがありますが、院内で結果が出る検査の場合でも30分から1時間ほどかかることから、定期的に受診されているかたには、原則として次回診察時にお知らせしています。

要望

市立病院内に糖尿病教室のようなものをつくり、食事、運動に気を付けることにより、服薬しなくてもすむことを教えてほしい。

回答

過去に何度か試みましたが、集団で実施することから日程調整が難しく、結果として個別での指導となってしまうため実現していません。現在、糖尿病患者を中心とした「フットケア外来」を行っていることから、今後はこれを拡充するかたちでの整備を図っていきたくと考えています。

